

# 日本損害鑑定協会 ASC 研修実施

## 現場実務に則した体系に改編

(公社)日本損害鑑定協会は、会員所属損害鑑定人向けの技能向上取り組みであるASC (Adjusting Skills College) 研修を、6月から7月にかけて開催した。同研修は、会員所属の損害鑑定人には、体系的なプログラムに基づき、高度な技術力・高い信頼性・分かりやすい説明力などの業務スキルを獲得することが不可欠という認識の下、高い鑑定品質を備えた鑑定人の育成と技術支援のため開催しているもの。今年度からは、より現場実務に則したものとするため、体系を大幅に改編して実施した。

今回から経験年数3年 研修とも、全科目を受講 程度の若手鑑定人を想定 する必要があったが、今 した研修(旧ステップ I)は「ベーシック研 修」として基本8科目に 絞って整備し、会場集合 型での運営とした。一 方、経験年数5年程度以 上の中堅鑑定人を想定し た研修(旧ステップII) は「スタンダード研修」 として専門10科目を設定 し、全てウェブ配信によ る運営とした。従来は両



ASC研修の様子

## 受講者ニーズにマッチした内容に

会長が鑑定業界の変遷に ついて講話を行い、受講 生である若手鑑定人に対 し、業界の歴史と損害鑑 定人の存在意義、同協会 の取り組みなどについて 説明した。

スタンダード研修は、 6月の毎週金曜日(のべ 5日間)に行われ、のべ 771人(1科目平均77 人)が受講した。科目 は、①約款解釈・火災保 険編(株名鑑)②約款解 釈・賠償責任保険編(株 内山鑑定事務所)③建物 積算の基礎耐火建物編 (マンシヨン共用部) (一財)経済調査会) ④建物の火害診断および 補修・補強方法指針 (一財)日本建築総合 試験所)⑤火災事故原因 調査の方法(東京消防庁 OB)⑥部下・後輩育成 のコミュニケーションと 鑑定業務における交渉ス キル(株東京海上日動H

講につながった。講師 (8月上旬にウェブでオ ンデマンド配信)。科目 は、①コンプライアンス ・倫理規定(はなぶさ法 律事務所)②火災保険約 款の基礎(株名鑑)③賠 償責任保険約款の基礎 (株内山鑑定事務所)④ コミュニケーションの基 礎とストレスへの向き合 い方(株東京海上日動H RA)⑤建物の鑑定実務 の鑑定実務(株三和鑑定 (株)ス力総合鑑定)⑥ 建物積算の基礎(一 (株内山鑑定事務所)。 財)経済調査会)⑦マン シヨンにおける保険事故 の鑑定実務(株三和鑑定 事務所)⑧動産の基礎 (株内山鑑定事務所)。

同研修の冒頭では、太田

の全科目受講を課してい たが、受講者ニーズを踏 まえ一切の制約を外し誰 でもどれでも受講可能と した。結果、受講者数は 倍増しており受講機会を 増やす目的は達成でき た。また、内容面でも昨 年度から研修委員による 全科目オプザブを実施 し、受講者ニーズにマッ チした内容になるよう講 師との打ち合わせを重ね てきた。テーマや講義内 容については今後もブラ ッシアップを重ね、鑑 定人目線で真に必要な知 識の習得ができるように 進めていきたい」として いる。

協会では、両研修の上 位研修として、アドバン ス研修(従来のステップ IIIとカフエテリア研修に 相当するもの)を夏季以 降に複数企画しており、 より専門的かつ品質の 高い講義の提供に努めて いくとしている。